

教育研究会2月例会 小出隆司さん報告

「さまざまな学力観」

1月例会でおこなわれた石井信行さんの報告「学力について考える」をうけて、これをさらに発展させるような意味から、「さまざまな学力観」と題して、小出さんが報告してくださいました。小出隆司「学力論概論」(「人権21」、2008年6月)といううってつけの論文が逢ったのも幸いでした。

論点は多岐に及ぶのですが、結局は、「反復練習」を重視する考え方と、「反復練習」を時代遅れだとして「背伸びとジャンプ」を重視する考え方、との二つの学力観がまず紹介されています。

次いで日本社会が蒙った大きな変化について指摘されます。高度成長が止まり、どこかの会社に入ったら安心できるという時代はもう終わった。それにもかかわらず、多くの学校や先生は、勉強して良い学校へ行っている会社へ入れという。しかし、それではもう時代に対応できないのだと、小出さんは指摘されます。

その上で、神奈川県茅ヶ崎の浜之郷小学校の実践例を参考にしながら、「各教師の創造性、革新性、判断力、直感、知力の発揮が尊重される学びの場」をめざしたいと結ばれました。

議論はさまざまにわたりましたが、教育の場を外から支えている社会そのものをどう考えるのか、それを教育にどのように反映させるかといったレベルの「学力」と算数や漢字といったレベルのミニマムの「学力」とは区別されなくてはならないのではないかと。また、生徒は、千差万別、そのおかれた環境も千差万別だから、生徒によって、どうした学力論が、その生徒の「まな

び」をひきだすかはさまざまではないか、単純なあれかこれか論でなく、立体的に考える必要があるのではないかと、といった意見が出されていました。

「現在」研究会

福井厚さん報告 「検察改革の視点」

タイムリーな話題であり、この研究報告は、「人権21」の4月号・6月号・8月号に掲載されます。

秋期合同学術集会のお知らせ

私たちセンターでは、ほぼ隔月ごとに、三つの研究会(教育研究会、岡映研究会、「現在」研究会)を開催してきました。この三つの研究会を合同で開催したらどうかという声が高まってきていました。そこで、この10月30日に3研究会の合同学術集会を開催しようということになりました。この機会にどなたか適切な講師をお招きして、記念講演をしていただくこともほぼ決まっています。この後、3研究会の代表によって、具体案を煮詰めることになっています。どうか積極的なご参加をお願いします。

人権散歩ご案内

5月、連休明け頃、センター恒例の人権散歩を実施することを計画しています。目的地は、長島「光明園」です。同園は、平日のみ開園ということですので、実施するとすれば平日ということになり、皆様のご意見を聞いた上で具体化します。(い)